

	日本語	英語
自己紹介 パターン	「どうもー!〇〇と〇〇です!」 「こんにちはー!〇〇と申します!」	「 Hello! We are 〇〇 and 〇〇! 」 「 Hi! My name is 〇〇! 」
日常会話 パターン	「なあなあ、聞いてやー!」 「最近さあ、こんなことがあってんけど…」	「 Hey, hey, listen to this! 」 「 You know, something happened to me lately... 」
時事ネタ・ 季節ネタ パターン	「今年ももうすぐ終わりですねー」 「今日の〇〇ニュース見ました!？」 「最近、〇〇が流行ってるらしいで」	「Wow, this year is almost over! 」 「 Hey, did you see the news about 〇〇 today?! 」 「 I heard that 〇〇 is popular now. 」
締めの 言葉	「どうも、ありがとうございましたー!」 「おおきに!」 「また、どこかでお会いしましょう!」	「 Thank you very much! 」 「 Thank you! 」 「 See you again! 」



ポイント

始まりは、お客さんの注意を引き、漫才の世界に引き込むことが重要です。
 終わりは、感謝の気持ちを伝え、良い印象で終われるようにすることが大切です。
 漫才コンビの個性やスタイルによって、様々なバリエーションがあります。
 これらのワードリストを参考に、オリジナルの漫才を作ってみてください。

なんでやねん!	◆ Why?! ◆ Why would you say that?!
ちゃうやろ!	◆ That's not it! ◆ No way! ◆ You're wrong!
そうかい!	◆ Oh really?! ◆ You think so?! ◆ That so?
知らんがな!	◆ I don't know. ◆ How should I know?! ◆ Not my problem!
しゃーないなあ…。	◆ Oh well. ◆ I guess...
〇〇とちゃうやん!	◆ Not 〇〇! ◆ It's not 〇〇.
無理があるわ!	◆ No way! ◆ Too much!
もうええわ!	◆ Stop! ◆ Enough!
何言うてんねん!	◆ What? ◆ What are you saying?
ええ加減にせえ!	◆ Stop it! ◆ Knock it off! ◆ Get serious!
(丁寧なツツコミ) 〇〇ですよ。	◆ It's 〇〇. ◆ Just to clarify, it's 〇〇. ◆ I believe you meant 〇〇.
違いますって!	◆ No, no. ◆ That's wrong.
落ち着いてください。	◆ Calm down. ◆ Be calm.
ちゃんと聞いてください。	◆ Listen to me. ◆ Please listen.



ポイント

より直接的でシンプルな表現にしています。
英語は文脈によってニュアンスが変わるため、
実際に使う際は状況に合わせて調整してください。

◆ 英語漫才を作る時のポイント

- ★ 日本語で作った台本(ネタ)をPCやタブレット等で自動翻訳したものをそのまま使うのはダメ!
 - > 文章を読んでいる感じになり、漫才として成立させることが難しくなります。
- ★ 台本は文章でなくてもいいです。単語もしくは短いフレーズにする。
 - > 自分たちが使いやすい会話のやりとりすることでテンポが出ます。
- ★ 表情やジェスチャーを入れて、間(ま)を意識して作る。
 - > 表情やジェスチャーを上手く使うと伝わりやすくなります。
例えば、「No」と言葉で言うだけでなく、
その時に首を横に振るだけでも見ている人にはより伝わります。

◆ 英語漫才を演じる時のポイント

- ★ 「Have Fun」 漫才を作る・演じるをとにかく楽しむ!
自分たちが楽しむのが最も大事です。
- ★ 「Speak Clearly」 ハッキリ聞き取りやすい声(声色)を心がける。
- ★ 「Big Voice」 意識をして普段より大きい声を出す。
特に舞台では倍以上の声で話すぐらいがよい。
- ★ 「Intonation」 セリフが棒読みにならないように台本を
自分の言葉として話す。
- ★ 「Gestures」 感情や状況を伝えるには言葉だけではなく
ジェスチャーもあると伝わりやすい。



ポイント

自分の言葉として話せるようになるには、
やはり練習がとても大事です。